

よかど鹿児島を活用したイベントを開催！

当協会が鹿児島県産業会館からよかど鹿児島本店ビル2階に移転して早8ヶ月が過ぎました。その間、鹿児島ブランドショップや館内を活用した様々なイベントを開催しており、1月以降に行ったイベントをご紹介しますと思います。

まず1月2日(木)～5日(日)の初商いでは、2025年に因み、鹿児島の特産品5,000円相当が入った「新春のお楽しみ福袋」を2,025円で25袋限定販売しました。

併せて「購入者向けの送料無料キャンペーン」や「鹿児島のお酒 擬人化ファンアート展」「本格焼酎の試飲会」も行ったところ、ブランドショップは初日から多くのお客様で賑わい、福袋は初日の午前中で完売するなど大変好評でした。

続いて1月末には、中国の春節に合わせて、本県の伝統的工芸品である川辺仏壇の螺鈿アクセサリーや薩摩切子の廃材を活用したキャンドルホルダーの製作体験会を行いました。どの体験者もカラフルなパーツの数々から組み合わせを考え、とても集中して作業を楽しんでいたのが印象的でした。今後も製造体験イベントを通じ、職人と交流することで、本県特産品への理解や興味をもっていただきたいと思います。

最後に、2月28日(金)～3月1日(土)には、本格焼酎など日本の「伝統的造り」が、国連教育科学文化機関(ユネスコ)無形文化遺産登録されたことを記念し、鹿児島県酒造組合青年会との共催により、県内37蔵元の銘柄が一堂に味わえる「よかど！焼酎STORY」を開催しました。

今回の催しは、各蔵元が伝統を受け継ぎながら、様々な銘柄を生み出している造り手の思いやこうじの話、蔵元の歴史などの「ストーリー」を伝える機会となり、また鹿児島県蒲鉾青年協議会やよかど鹿児島のテナントにも協力いただき、揚げたてさつま揚げを始めとする県産品もお楽しみいただきました。

来場者からは「普段味わえない焼酎も多く、蔵元から直接話を聞きながら飲む焼酎は格別」「1年に何度も開催してほしい」などの感想をいただきました。

今後も関係団体等と連携を図りながら、よかど鹿児島を活用したイベントを企画していきますので、ご興味のある方は当協会までお問い合わせください。



新春のお楽しみ福袋販売



伝統的工芸品製造体験会



伝統的工芸品製造体験会



いっせいで乾杯！

～令和6年度 第5回理事会開催報告～

令和6年度第5回理事会を3月27日(木)に開催し、会の冒頭には塩田理事長より「県内の経済は全体として回復傾向が続いているものの物価上昇等の影響が見られる中、当協会においては今後とも、会員の皆様と一緒に、世界に誇れる「南の宝箱 鹿児島」の農林水産物や加工食品、伝統的工芸品等のブランド力の向上販売力の強化に積極的に取り組み、本県産業の「稼ぐ力」の向上を図ってまいりたい。」との挨拶がありました。

本理事会では、令和7年度事業計画及び収支予算のほか、事務局人事や新規入会(3社)など議題4件について審議が行われ、いずれも原案どおり承認されました。

また、令和7年度は、クルーズ船寄港の増加や海外航空路4路線全ての再開、「荒茶生産量、初の全国1位」「日本一の県産和牛」「伝統的造りがユネスコ無形文化遺産に登録された本格焼酎」「今年7月に世界文化遺産登録10周年の節目を迎える明治日本の産業革命遺産」など様々な話題があり、本県の観光や農畜水産物等の関連産業は活発化するものと期待されております。

当協会としましては今後とも、新たな取り組みにも挑戦しながら特産品振興に努めてまいりたいと考えておりますので、会員の皆様のご協力・ご支援をお願いいたします。

東武百貨店池袋店「第45回 大鹿児島展」開催

鹿児島県と当協会では、東武百貨店池袋店（東京都）において「第45回大鹿児島展」（2月27日～3月4日）を開催しました。（食品67社 工芸品21社出展）

会場では、例年、物産展の人気アイテム「芋菓子・スイーツ」をはじめ、畜産王国鹿児島が誇る「日本一の鹿児島県産黒毛和牛」「かごしま黒豚」「黒さつま鶏」の他、「養殖収穫量日本一のブリ・鰻」などを贅沢に盛り付けた弁当・惣菜、旬の農産物や柑橘類など本県を代表する農畜水産物・加工品、また、伝統的な技術や技法を活かした工芸品など鹿児島の魅力ある特産品や観光情報等を幅広くPRしました。

特に今回は、全国に誇れる「食の宝庫」鹿児島のなかでも、日本一の食材が豊富な「大隅地域」から16店舗が出展し、垂水市のブランド魚「桜勘カンパチ」を使った弁当や大隅地域の素材を活かした加工品等の販売、週末には、大隅地域の高校生で構成するフィッシャリィガールが来場し、カンパチ解体ショーの披露と試食提供を行ったことで、会場は大いに盛り上がりました。

また、物産展の顔ともいえるラーメン茶屋や本格焼酎が楽しめる焼酎Barが約3年ぶりに復活したことで、鹿児島県出身者や鹿児島ファンで連日行列ができるなど、コロナ禍では規模縮小や試飲・試食の提供を控えることが多かった物産展も以前の姿が戻ってきた活気ある物産展となりました。



大鹿児島展を楽しみにされた
来場者で賑わう会場

【来場者・出展者・百貨店関係者の反応等】

- ・わざわざ鹿児島に行かなければ買えない・食べられない商品が一堂に介している。鹿児島に旅行に来ているようだ。（来場者）
- ・鹿児島ならではの素材や特徴を説明し、作り手のこだわりや思いを知って購入されるお客様が多く、大変嬉しく非常にいい機会となった。（初出展者）
- ・年間を通して鹿児島の特産品を扱っているなかで、催事はお客様と唯一直接楽しめる機会です。東武百貨店としても鹿児島展は大切にしている。（百貨店担当者）

「Makuake」を活用したトライアル販売を実施しました

当協会では、昨年度に引き続き、応援購入クラウドファンディングサイト「Makuake」を活用した新商品等のトライアル販売を実施することで、日本全国へ本県特産品の情報を発信及び新たな市場でのブランド化、販路開拓を支援しました。【令和6年度WEB活用県産品販売促進事業（鹿児島県委託事業）】

今回は、8社のプロジェクトの出店をサポートし、Makuakeの申請手続き、プロジェクトページの制作・公開等、SNSを活用した情報発信・販促活動、食品の一括表示などを支援し、全プロジェクトが目標金額を達成しました。

◎応援購入総額：2,111,742円、購入総数（サポーター）：435件

添加物不使用で常温保存ができる黒豚ウインナーは、アウトドア時や防災食としてもニーズがあり、応援購入者が100名を超える市場性の高いプロジェクトとなりましたが、ニッチ商品で目標額達成までの時間を要したプロジェクトもありました。活動レポートをこまめに投稿したプロジェクトは、最初の伸びは厳しかったのですが、徐々に支援を集めていき、コンスタントな情報発信が支援につながることの良い事例となりました。

また、北海道から沖縄まで40都道府県に居住されるサポーターから購入いただき、その中でも関東地域からの購入が183件と42%を占めています。

リターン品発送後は、当協会ECサイト「かごしま特産品ねっとかごいろ」に順次掲載することにより、継続した販売促進を図ります。



中国・重慶市での「鹿児島県工芸品フェア」

当協会では、上海事務所を中心に中国国内で開催される展示会やフェアに出展し、本県特産品や観光のPR活動を行っています。今回は、中国・重慶市で開催した工芸品フェアについて報告します。

R3年度より重慶市（中国南西部）にある「青山スクエア（※東京青山スクエアの海外店）」にて常設展示販売を行っており、年1回「鹿児島フェア」を開催しています。今回で4回目のフェアは、2025年1月11日（土）～25日（土）の15日間開催し、フェア初日には在重慶総領事館やVIP約30名を招待したキックオフイベントを開催しました。

主な販売商品は、薩摩焼、薩摩錫器、薩摩切子、大島紬・染製品、奄美のマベパール、郷土玩具などで、マベパールは昨年から販売をスタートし、お客様の評価も高くキックオフイベントでも数名が購入されました。

薩摩焼・薩摩錫器は、実際に手に取ることで手触り、サイズを確認され、特に薩摩焼に関しては釉薬の風合い・一点ものという点から黒薩摩も大変人気がありました。

中華料理での食器の使い方、またディスプレイ方法として「プレート皿の上にボール皿、もしくは湯呑を置く」こともあるようで、食器の使用感以外にもディスプレイした際の雰囲気を確認しながら、購入を検討するお客様の姿も見られ食器の取り扱いについても文化の違いがあり、伝統の技術を生かしながら、いかにして現在の生活習慣・環境に取り込んでいくかが重要と感じました。

また、重慶市以外にも足を運び、日中の陶器に精通したバイヤーとの交流の中で中国茶器の紹介もいただきました。例えば高温のお湯を入れても熱くなく持てる湯冷ましの形、急須・湯のみの大きさ、温めながら使える急須など様々な茶器があり、インバウンドを含め製品作りのヒントになるのではないかと思います。

鹿児島県でも工芸品に関する支援がありますので、ぜひ県の支援を活用しながら商品開発を進めてより良いものにブラッシュアップされることを期待しています。



台湾での「さつまいも・きんかんフェア」を実施

毎年、旬の時期に台湾でさつまいもときんかんのフェアを開催していますが、今年度はさつまいもフェアを7店舗、きんかんを3店舗の現地高級量販店で実施しました。

台湾でも、さつまいも、きんかんは生産されていますが、日本産さつまいもは、「見た目もよく甘くておいしい!」と多くの方に支持されており、今では通年販売されています。日本産さつまいもの需要はまだまだ伸びると現地輸入商社からの話もあり、引き続き輸出拡大が期待されます。

きんかんに関しては、酸っぱい台湾産と同様の商品だと思われるお客様も多く「きんかん＝酸っぱい果物」の先入観から入るため、試食を進める際は必ず「台湾産とは異なり皮・実ともに甘い」の説明が必要です。金柑は酸っぱい果物と思っている台湾人もまだまだ多いことから、継続した試食PRによる販売活動は欠かせません。

また、台湾では使用できる農薬や残留農薬基準が厳しく設定されています。青果物の輸出は、香港、シンガポールなどに比べてハードルの高い市場ですが、輸出に取り組む際、台湾を見て生産計画を作成するとおのずと他国への輸出もスムーズに行うことができるようになります。海外への輸出を検討される際は、一度台湾の基準を調べることをお勧めします。青果物輸出を検討している企業様へ何かの参考になれば幸いです。



鹿児島ブランドショップ鹿児島店・東京店
「木曾三川でつながる鹿児島県と岐阜県フェア」
「食とものづくり体験サロン」薩摩焼・薩摩糸びな製作体験開催

宝暦治水などでゆかりの深い本県の姉妹県である岐阜県との交流の一環として、両県のアンテナショップにおいて両県特産品の展示販売・PRする「木曾三川でつながる鹿児島県と岐阜県フェア」を鹿児島店で開催しました。

当フェアでは、両県特産品の相互販売会を行い、鹿児島店では、岐阜県特産の五平餅や赤かぶ漬、飛騨牛を使った加工品など21社32品目、愛知県名古屋市にあるGIFTS PREMIUM（岐阜県アンテナショップ）では、本県の郷土菓子や特産品コンクール入賞商品を中心とした20社35品目の商品を販売し、両県の特産品振興と交流を深めました。

GIFTS PREMIUMの担当者からは「九州地方と中部地方でこれだけ離れているにも関わらず、毎年このような両県の特産品をPRできる機会を設けてもらえるのは、大変有難い。鹿児島の特産品はとても人気がある。これからも継続して親交を深めていきたい」との感想があり、両県の関係性の深さが窺えました。

宝暦4年(1754年)から現代まで続く両県の絆を絶やさぬよう、今後も特産品の販売を通して交流を図って参ります。

東京店では、昨年10月からスタートした「食とものづくり体験サロン」（ブランド総合研究所運営）において、荒木陶窯の荒木秀樹氏による薩摩焼手びねり陶芸体験（2月7日(金)～9日(日)）と小澤人形の新山禮子氏による薩摩糸びなづくり体験（2月21日(金)～23日(日)）を実施しました。陶芸体験では、黒薩摩カップや皿などの製作、糸びなづくり体験では、ひな祭りを前に見事な糸びなを完成させ、参加者からは、使う、飾るのが楽しみとの感想がありました。

また、2月8日(土)～9日(日)には、焼酎マイスターの解説による焼酎の飲み比べ体験も開催し、体験者は、各焼酎の特徴やお勧めの飲み方等の説明を興味深く聞きながら、器によって変化する味わいを楽しんでいました。毎回参加される方も多く、次回開催を期待されている声も聞かれました。



GIFTS PREMIUMでの
鹿児島県フェア



食とものづくり体験サロン

特産振興支援員奮闘記

安心して食べられる安全な食品が提供されていますか？

特産振興支援員 食品担当 海老原 涼子



今年度の食品衛生研修会(県薬剤師協会主催)で得た最新情報をお知らせします。全国での食中毒発生は、毎年1,000件、患者数10,000人。ここ10数年大きな変化はありません。鹿児島県では、ノロウイルス、カンピロバクターによる食中毒発生が多いのですが、昨年は、29年ぶりに「黄色ブドウ球菌」、26年ぶりに「ウエルシュ菌」による食中毒が発生しています。発生した食中毒については、食中毒防止等対する注意喚起及び拡大防止等のため、県ホームページに公表されます。

また、食品衛生法の一部も改正されています。①HACCPを取り入れた衛生管理（振り返りの実施）②食品を製造・販売する事業者は、使用する食品に直接触れる器具・容器包装が「ポジティブリスト」に適合しているか製造元に確認する。③食品等のリコール情報の行政への報告義務づけ—食品衛生法違反または違反の恐れ、食品表示法違反が対象（R6年度本県は、アレレゲン1件、期限表示6件、保存方法1件(重複)、食品衛生法関連4件）④アレルギー（特定原材料等）は概ね3年ごとに見直される。くるみ、マカダミアナッツが追加され、マツタケが削除されている。⑤食品期限表示の設定のガイドラインの見直し「安全係数の設定」⑥ミネラルウォーター類(殺菌・除菌有)にPFOS及びPFOAを成分規格として設定される見込み。詳細は県庁生活衛生課食品衛生係にお問合せください。

おいしい、安心・安全な食品を提供していくためには最新情報を常に確認・入手しましょう。

1. 「かごしま特産品ねっと かごいろ」にて特産品をPRしませんか？

当協会では、本県特産品の販売機会を創出する場として、通販サイト「かごしま特産品ねっと かごいろ」を立ち上げてから約5年が経ちました。これまで「かごしま特産品応援キャンペーン」と銘打ち、Yahoo!ショッピング店や楽天市場店とも連動した割引クーポンキャンペーンなど、様々な販促強化に取組み、新規商品の掘り起こしや商品開発によるサイトの魅力度アップに努めて参りました。

昨年12月からは、楽天市場店もオープンし、県特産品のPR・販売強化を図っております。

また当サイトは、県外のバイヤー（流通関係者）と本県特産品および事業者を繋ぐ一つのツールにもなっており、今後も県内外の企業や自治体・関係団体等との連携、応援キャンペーンによる県内特産品の販売機会の創出・需要拡大、情報発信等を行って参りますので、当サイトへの出品等についてお気軽にお問い合わせください。



【かごしま特産品ねっと かごいろ】 <https://kagotokunet.shop-pro.jp/>
【かごいろ Yahoo!ショッピング店】 <https://store.shopping.yahoo.co.jp/kagoiro/>
【かごいろ 楽天市場店】 <https://www.rakuten.co.jp/kagoiro/>
【お問合せ・申込先】 (公社) 鹿児島県特産品協会 遠矢喬志、帖佐満、永田みずえ
 E-Mail: n.mizue@k-p-a.jp
 TEL: 099-223-9177 FAX: 099-227-0768

2. 大丸福岡天神店「第4回 南の宝箱 鹿児島展」開催します！

当協会では、鹿児島の魅力ある特産品を福岡県一円の一般消費者へPR・情報発信し、地元貢献するため大丸福岡天神店にて「第4回 南の宝箱 鹿児島展」を開催いたします。

今回は、畜産王国鹿児島が誇る「鹿児島黒牛」「かごしま黒豚」「黒さつま鶏」やそれぞれのオリジナル弁当、鹿児島ならではの芋スイーツ、春にぴったりの桜スイーツなどの季節限定スペシャルメニューを販売するほか、福岡名店×鹿児島素材豪華コラボ、鹿児島焼酎酒場、工芸特集や県内各地の観光情報等を幅広くPRします。

【会期】 令和7年4月9日（水）～4月14日（月）6日間

【会場】 大丸福岡天神店 本館8階催場

3. かごしま遊楽館「工芸品ギャラリー」をご活用ください

当協会では、かごしま遊楽館3階（東京都千代田区有楽町）にある鹿児島ブランドショップ東京店内「工芸品ギャラリー」を活用し、本県独特の素材や技術を活かした工芸品等を首都圏に広く紹介・宣伝しております。

県内作家や各団体等の発表の場や販路開拓の拠点として、個展（グループ展）や観光PR（団体・自治体紹介）等にもご利用いただけますので、是非ご活用ください。

利用ご希望の方は、**令和7年4月30日(水)まで**に当協会へお申込みください。

設置場所：鹿児島ブランドショップ東京店内（東京都千代田区有楽町1-6-4）
 利用期間：原則として1週間以上2週間以内（応相談）
 利用時間：午前10時～午後6時
 利用対象：本県の工芸品や各団体・自治体の観光PR等

<お問合せ先>

(公社) 鹿児島県特産品協会 企画開発課（担当：池田）

TEL: 099-223-9177 E-mail: s.ikeda@k-p-a.jp

※詳細および利用申込書は、下記よりダウンロードください。

【利用要領】

<https://www.k-p-a.jp/cms/wp-content/uploads/2025/02/gallery.pdf>

【申込書・申請書】

<https://www.k-p-a.jp/cms/wp-content/uploads/2025/02/gallery.doc>